

2014年 日本スナイプ協会理事会 議事録

書記 岡田

日時 2014年11月15日 17時～19時
場所 和倉温泉観光会館
出席者 宮崎顧問、古賀会長、桑野副会長、西村、野元、吉留、内田、村山、内山、宮崎、木下、西居、白石、野見山、鈴木、笹井、山田、岡田

議 題

1 会長あいさつ

本協会は、1100人を超える会員数を有しており、JSAFの中でも大きなウエイトを占めている。現在開催している全日本選手権は、協会として、最大の、そして、最高の大会と位置付けており、今後とも、みんなでスナイプの活動を盛り上げていきたい。

2 協議事項（※下線項目は、2月理事会で協議）

①日本スナイプ協会 HP について

②クラスルール HP 掲載について

③2015全日本選手権（愛媛：新居浜）について

—愛媛県セーリング連盟 大槻氏から説明—

→確認事項 開催日程：2015年11月で開催を確認した。

→微風等のルール変更については、SCIRAに問い合わせの上、変更内容を決定する。

→エントリーフィーについては、大学生の参加が多いことも考慮し、各種補助金等を活用するなど、低く抑えられるよう検討をお願いしたい。

→レセプションの実施は、協会として、最高の、メイン大会となり、全国からの参加者の懇親を図る重要な場として位置付けられる。内容は開催地に任せる。

2015年レース予定

| | 全日本 Jr | 全日本女子 | 全日本マスターズ |
|-----|----------------|--------------|--------------|
| 開催地 | 琵琶湖（同志社w） | 蒲郡 | 蒲郡 |
| 日 程 | 2015. 3. 21-22 | 2015. 8. 8-9 | 2015. 8. 8-9 |

④2016全日本選手権について

各水域持ち割りで行ってきたが、今後どのようにしていくかを検討していく必要がある。

2016年は関西、2017年は関東で開催を予定しているが、福井から開催の打診を受けている。

全日本選手権と世界選手権等の選考レースの意味合いがあり、チャンピオンシップにふさわしい全日本、一方で、全国各地で開催する実業団（プレ国体）を普及や強化等と位置付けて、全日本の棲み分けを行っていったらどうか。

→次回2月の理事会で検討を行うこととする。

⑤その他

→次回全日本のレース公示に不成立時の取り扱い等について、記載を行う。

→ワールドマスターズでは、JPNがないまま参加したり、計測関係も含め各水域のフリーキャプテンの位置づけは重要になっているので、活性化のために頑張っても

らいたい。

■ 広報・普及から提案

- ① 協会HPにデコールとメンバー登録の件で問い合わせが多い。各水域でアナウンスをお願いしたい。
(FAQで掲載しているが、未確認のまま、メール送信するケースが多い)
- ② 協会としての情報発信の充実を図ってはどうか。Facebook などupすると3500人くらい見てくれている。もっと情報を出していくべき、広報として、全日本や各水域等、リンクして情報を充実、発信していきたいと考えている。
→目的やターゲットなどを明確にし、広報内容等 (HP・ルール) に必要な経費、内容を、次回2月の理事会で提案してもらいたい。

3 報告事項 (※下線項目は、2月理事会で報告)

- ① 計測委員会
- ② 2014 マスターズワールド
- ③ 2014 西半球選手権
- ④ 2015 ワールド、Jr ワールド：イタリア9月
- ⑤ 次期水域理事候補 (2016) 2015年6月までに推薦

4 その他

- ・ 理事長ビジョン (西村理事長)
各水域に共通することだが、メンバー登録、レース参加者の減少が報告されている。
どうすべきか、各水域メンバーでしっかりと考えてもらいたい。

— 3つの提案 —

- ① 体種目への復活
JSAFヘスナイプクラスの国体種目復活を訴えていきたい (まず文章にて)。
- ② ワールドチャンピオンの
SCIRAとして、ワールドチャンピオンの各種レース参加派遣への助成を行っている。今後、全日本への招待や強化合宿の開催など企画していきたい。
- ② 団体戦の創設
普及や懇親も含め、各水域や企業・大学・高校・自治体などのOB・現役、1チーム2艇による団体戦を企画していきたい。

2015年 各種レース予定 (参考)

| | 国体 | プレ国体 | インカレ | 全日本対抗 | 備考 |
|------|-----|------|------|-------|--------|
| 2015 | 和歌山 | 岩手 | 江の島 | 愛媛 | |
| 2016 | 岩手 | 愛媛 | 広島 | | ワールド予選 |
| 2017 | 愛媛 | 福井 | | | |
| 2018 | 福井 | 三重 | | | ワールド予選 |

次回理事会は、2015年1月31日 (土)、2月1日 (日) で開催を予定。

日本スナイプ協会 理事顔合せ会 会議録

日 時 2014年3月15日 11時～17時
場 所 愛知県刈谷市 シャインズビル 会議室
出席者 篠田顧問、西村、野元、吉留、川村、内田、村山、内山、宮崎、五十川、三森、白石、野見山、鈴木、笹井、山田、岡田（書記）

議 題

1 理事長あいさつ

・役員選出（2014～2015）について

別紙役員名簿のとおり、確認した。

・理事長ビジョン：（選手の強化、会員の代表として協会の発展・躍進）

2 自己紹介

各理事から、自己紹介と水域の現状、課題について報告

- ・役員選出手順の明確化→（選手の立場での）規約改正等
- ・東北震災被害復旧状況と全日本開催に向けての思い
- ・東北選手支援、ワールドマスターズチャーター艇手配を通しての支援
- ・全日本のレポートもブリテンに掲載を依頼 など

（1）広報・普及から提案

情報発信手段として、Facebook（2/14～）、Twitter（4/1 予定）の開設、HPのリニューアル（閲覧者ニーズへの確に対応）も予定している。

その他、会員増加への取組み、各種手続きの明確化や広報活動、普及活動の拡大、充実に計画。

3 ワールドマスターズについて（野元理事）

①レース概要

8月25～30日 福岡市ヨットハーバー（小戸）にて開催
3月10日ホームページを開設し、3月15日から参加受付を開始。
3月15日～5月31日 6万円（アーリーエントリー）
6月 1日～ 8万円（レイトエントリー）

※全てクレジット決済

海外選手：自艇、持込艇、チャーター艇

国内選手：自艇、持込艇のみ

■注意事項（各水域にて、参加者へ周知・確認のこと）

①レース公示：3. 2参加資格

⇒ 国内参加者においては、会員登録＋JSAF 会員登録が必要。

②デコール

⇒ トランサム前のスターボードサイド（ハル）に貼付

③ジブセール

⇒ 160g/m²のスタンプは必須

■依頼事項

広告募集：大会プログラムに広告掲載の呼掛けを依頼

→掲載依頼は、福岡県連岩瀬理事長へ直接連絡をお願いしたい。

大会補助金として、本協会から500万円を補助している。その内、200万円については、篠田顧問から個人的支援が含まれていることが報告された。

②チャーター艇

チャーター艇について、現在34艇が近隣水域等から準備できている状況。

4 その他

①全日本スナイプについて（11月11—16日）：石川県和倉

■大会日程等の変更

（計測関係）当初12日からの計測であったが、11日14時からに変更

（レセプション）当初12日（水）⇒15日（土）18時に変更

→理事会開催時間は調整必要（短時間で確認できるよう工夫）

大会参加費は4万円

②西半球選手権（9月6—12日）：サンディエゴ

国際大会参加者 2013全日本上位5チームが参加資格を有する。

女子枠1チーム、Jr1チーム（2014Jrで決定）

各参加者の水域理事は、参加の有無を確認すること。

③計測関係（百済理事）

3月20日 計測員更新講習会 5月5日 新規計測員講習会

■ルール改正等

ルール変更の動きがあり、フォームも含めて見直し中。

改定時期は、現在のところ、未定である。

日本語版については、冊子は作成せず、webにて確認できるようにする。

セール計測について、160g/m²については、2014年の国内大会（全日本を含む）においては、免除する。（2013.11月理事会で決定）

計測方法は、2011年以降の計測方法による。

2015年からは、全てのレースにおいて、適用する。

（参考：メルゲス20のIHCが追加された）

④その他

●全日本優勝者は、永久シードを付与してはどうか。⇒継続審議（11月の理事会）

●各水域での持ち回りによる全日本選手権について、18年以降の開催水域等については、継続審議となった。（水域の状況、国際大会参加選手選考等を踏まえ、今後の全日本開催水域のあり方を検討）

●各水域での活動状況を共有・周知するため、フリート内で、レポートの記載依頼、取りまとめを行い、フリートキャプテンがレポートを提出。

●6月7—8日海陽にて、ミッドランドJAPAN、中部実業団、全日本Jr&女子を兼ねて実施する。各水域へ周知してほしい。

●エンブレムの作成を検討。デザイン等については、広報・普及を中心に企画・提案する。

2014年 レース予定

国内

6月7—8日 全日本Jr&女子 : 海陽

8月25—30日 全日本マスターズ : 小戸（ワールドマスターズと兼ねる）

11月11—16日 全日本 : 和倉

国際大会

8月25—30日 ワールドマスターズ : 小戸

9月6—12日 西半球選手権 : サンディエゴ 5チーム、女子1、Jr1

11月3—10日 女子ワールド : アルゼンチン